

廃棄物最終処分場の排水等の処理方法に関する研究

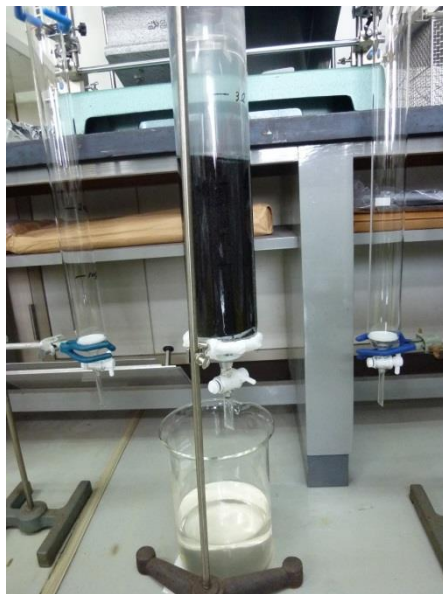
1. 事業の概要

廃棄物最終処分場の排水等は、埋立処分が終了した後も安全（継続的な基準適合）が確認されるまで適正に処理を行うことが求められていますが、埋立物の性状によっては浸出水の処理に多額の経費を要する場合があることから、適正かつ安価に排水処理を行う技術の開発が求められています。

そのため、事業者等に対する指導の一助とすることを目的とし、県内の最終処分場の排水等について、適正かつ安価に処理できる方法について調査研究を行っています。

2. 平成 29 年度の実施内容

平成 29 年度は、県内の最終処分場の排水処理施設について現地調査を行うとともに、現況を把握するための水質分析を実施しました。また、近年新たに規制対象となった 1,4-ジオキサンの効率的な処理方法に関する基礎的な検討として、通常の排水処理施設で採用されている処理方法（ばっ気処理、紫外線分解、活性炭吸着）による 1,4-ジオキサンの除去率を実験室レベルで調査しました。



活性炭カラムによる 1,4-ジオキサンの除去実験

担当部署

環境保健センター 環境科学部 水質科